

< NPO法人等の非農家等と連携を実施している事例 >

集落ぐるみの多面的機能持続発揮と担い手の育成

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	京都府京丹後市久美浜町佐野甲				
協定面積 23.7ha	田(100%) 水稲、黒大豆	畑	草地	採草放牧地	
交付金額 306万円	個人配分			50.1%	
	共同取組活動 (49.9%)	役員報酬			4.6%
		道・水路管理費			6.6%
		農地管理費			2.0%
		鳥獣被害防止対策費			2.6%
		多面的機能増進活動費			3.3%
		無人ヘリ防除委託費			15.6%
その他			1.0%		
積立			14.2%		
協定参加者	農業者 32人、水利組合(1組織)、農業生産法人(2組織)				

2. 取組に至る経過

当集落では、イノシシ等の獣害による水稲被害が増加し、個々での対応が難しくなっていたため、地域内の非農家を含めた多様な団体の代表者による「中山間推進委員会」の設置を契機に話し合いを重ね、全区民へのアンケート等も実施し、「～かけがえのない私たちのふるさとを創る～」と掲げた成果集を作成し、集落の意識を高めるとともに活動方を共有し、非農家を含めた集落全体での取組を図ることとした。

3. 取組の内容

有害鳥獣対策としてレンタカウによる放牧に取り組むこととし、このレンタカウを利用し、地元の小学校等を対象に、レンタカウの目的や牛の生態等についての学習会を併せて開催している。

また、間伐材除去などの周辺林地の環境整備では、企業ボランティアを受入れ協働で作業を行っている。

さらに、平成18年から地元の小学校と連携して芋植えや、秋には収穫祭を行うなど多面的機能の発揮にも取り組んでいる。



